

門司港レトロ地区の活性化の方向性と目標数値

1 門司港レトロ地区の活性化の方向性

『観光』と『まちづくり』が一体となった地域の振興

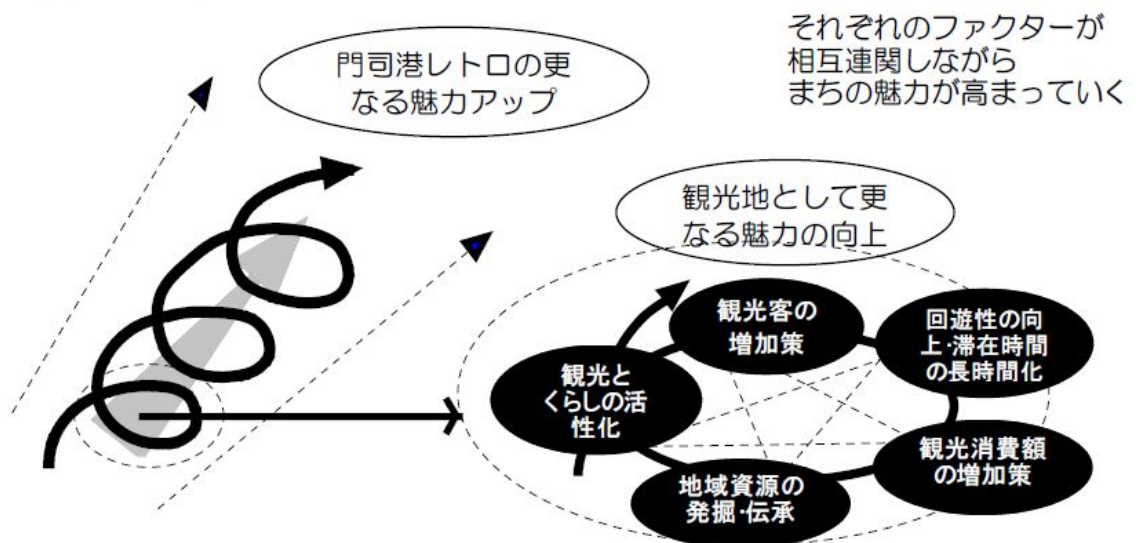
地域が育てる観光、魅力ある地域づくりを推進



～魅力ある地域づくり、交流する門司港レトロへ～

まちづくりの推進による地域イメージの向上を図り、
門司港レトロに魅力を感じるひとびとが増え、まちのイメージが高まれば
訪れたい・住みたいまちにも繋がる。
「門司港の都市イメージの向上」と「生活文化の向上」の、
相乗効果により、
地域力向上のスパイラルアップを図る。

<展開イメージ案>



2 目標数値

今後の門司港レトロが目指すべき将来ビジョンとともに、その目標を実現するための年次と目標とすべき指標を明確にする必要がある。

目標とする指標は、「観光振興からの視点」と「まちづくりからの視点」で整理を行う。

また、内容については観光客数など量を評価する指標だけでなく、「満足度」（来訪者・生活者にいかに満足してもらったか）という質を評価する指標も重要となる。

計画の目標年次

目 標	平成20年度から概ね10年間
-----	----------------

目標とする指標と数値

観光振興及びまちづくりの指標として、定量・定性面で以下のように設定する。

まず、観光客数については、5つの課題に対応したハード・ソフト両面からの施策を推進し、過去10年間の伸びを持続させることにより、50%の上昇を目指す。

観光消費額については、定期的な調査により、1人当たりの観光消費額の20%の上昇を目指す。

居住人口については、全市的には減少傾向が予想される中、レトロ中心地区において、10%の上昇を目指す。

商品販売額については、レトロ中心地区において20%の上昇を目指す。

定性的な指標については、定期的なアンケート調査により、来訪・居住の満足度を把握することとし、各々20%の上昇を目指す。

	定量	定性
観光振興	門司港レトロ地区の観光客数 50%アップ 【レトロ地区】(H18:214万人 H29:320万人) 【和布刈地区】(H18:121万人 H29:180万人)	来訪満足度 20%アップ
	1人当たりの観光消費額 20%アップ	
まちづくり	レトロ中心地区の居住人口 10%アップ (H18:4,637人 H29:5,100人)	居住満足度 20%アップ
	レトロ中心地区の商品販売額 20%アップ (H16:112億円 H29:130億円)	